

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	道路交通適正化に向けたLRT等の公共交通 利用促進施策に係る経費		担当部局庁	都市局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度	H22/H24		担当課室	街路交通施設課		課長 西植 博		
会計区分	一般会計		施策名	8-32 道路交通の円滑化を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	路面電車等の安全性を向上させるシステムを開発することにより、自動車から路面電車など公共交通への転換を図るとともに、渋滞の緩和や環境負荷の軽減など道路交通の適正化に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	路面電車等の安全性を向上させるため、 ①歩行者と路面電車等の交錯防止を図るシステム ②自動車と路面電車等の交錯防止を図るシステム ③狭隘区間の電停における乗降客の安全確保を図るシステム などのシステムを検討・開発し、実証実験を実施することで施策の効果などを把握するとともに、軌道事業者に対してこれらのシステム機器の製作、設置について助成を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	58	58	70	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	58	58	70	
		執行額	-	-	58			
	執行率(%)	-	-	99.1%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	路面電車等の安全性の向上		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	路面電車等の安全性を向上させるためのシステム開発		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
						(-)	(-)	
単位当たり コスト	-		算出根拠					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	道路交通円滑化推進費		58	70	-			
計		58	70					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度については、路面電車等の安全性に関して、国内・国外における現在の課題や対策等の事例調査、ケーススタディ等を実施したところ。 ・軌道事業者への助成については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に基づく補助金交付申請時に使途の把握を行うとともに、同法に基づく実績報告において実績の把握を行っている。 ・平成23年度については、法制度等の分析を行い、具体的な対策の検討を行う。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善②	<p>本調査で把握した、路面電車等の安全性についての国内外の課題や事例等を踏まえ、道路利用者等の意見等も把握した上で、より安全で安心な路面電車等の公共交通利用の促進に向けた取組みを行う。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>・平成24年度は、路面電車等の安全性を向上させるためのシステムについて、検討・開発、実証実験等を実施する。実施にあたっては、道路利用者等の意見等も把握した上で、より安全で安心な路面電車等の公共交通利用の促進に向けた取組みを行う。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省
58百万円

- ・路面電車等の安全性の向上による公共交通利用促進施策の検討
- ・路面電車等の利用促進施策としての、システム機器の製作・設置への助成

【企画競争】

A. 公益法人
(社) 日本交通計画協会
23百万円

- ・路面電車等の安全性を向上による公共交通利用促進施策の検討

【公募・補助】

B. 民間企業 (2社)
35百万円

- ・路面電車等の利用促進施策としての、システム機器の製作・設置への助成

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. (社)日本交通計画協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	路面電車等の安全性を向上による 公共交通利用促進施策の検討	23			
計		23	計		0
B. 広島電鉄(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	システム機器の製作・設置	29			
計		29	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本交通計画協会	路面電車等の安全性を向上による公共交通利用促進施策の検討	23	1	99.3%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島電鉄(株)	システム機器の製作・設置	29	—	—
2	京阪電気鉄道(株)	システム機器の製作・設置	6	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					